

学校名	兵庫県立姫路しらさぎ特別支援学校
1 ICTを活用した自立活動指導の実際	
【地域の小中学校における個別の指導計画作成のための支援】 (1) 支援期間 令和4年5月～令和5年1月 (2) 使用した遠隔システム Google Meet (3) 支援内容 ①遠隔による研修会 1) 自立活動における実態把握のあり方 2) 6区分から見た中心的課題の導き出し方 3) 評価について *対面研修は別途実施 ②遠隔による個別相談 1) 担任との懇談 2) 児童との面談 ③特別支援学級担任、通級担当者、コーディネーターを対象に「個別の指導計画困り感のアンケート調査（Google Form）」 (4) 支援体制 ①市内4つのセンター校のコーディネーターによる支援チームを結成し、適宜遠隔及び対面でミーティングを実施。そして研修を担当。 ②市教育委員会特別支援教育担当課との連携。 ③小中学校の特別支援教育担当校長との連携。	
2 成果と課題	
地域校の教師の変容 (支援開始前) 個別の指導計画の新様式が導入され、流れ図における重要ポイントが分からず、作成において非常に困っていた。	(支援開始後) 毎回の研修後アンケートでは、重要ポイントの理解が進んだといった感想が多く述べられた。また個別相談時にセンター校に送られてくる個別の指導計画の内容が充実してきた。

個別面談の様子



遠隔による研修の様子



遠隔で使用した機器



成果

- ・遠隔研修の開催により、地域の教師の参加が容易になったため、自主研修への参加者が増えた。
- ・Google Form により困り感アンケートが速やかに実施でき、具体的にどのようなことに困っているかが明らかとなったので、その点にクローズアップした内容の研修をタイムリーに行うことができた。
- ・研究指定校のホームページに自立活動チェックリストや個別の指導計画作成手順シートなどのツールをアップし、自由にダウンロードして活用してもらえるようになった。

今後の課題

- ・研修に参加した教師と参加していない教師の間では、個別の指導計画作成に関する理解の度合いに個人差が見られる。そのような個人差を埋めるためのシステム作りやマニュアル作りが求められる。マニュアル作りについては、市教育委員会の特別支援教育担当課と協議中であるが、効果的かつ効率的に活用できるものが必要である。

3 ICT を活用した自立活動指導についてのコメント (児童生徒、保護者、教員等の声)

- ・遠隔による研修が参加しやすく、質問に対して具体的なアドバイスがもらえて、とても参考になったという感想が多く見られた。

4 添付資料

- ・自立活動チェックリスト
- ・個別の指導計画作成手順シート